KaracrixBuilderV3 システムマニュアル

(取扱説明書 v1.00)

株式会社 エスアイ創房

改定履歴

第1.00版 2008/12/1

おことわり

(1) 本書内容の一部又は全部を、無断で他に転載することは禁止されています。

(2) 本書内容は、将来予告無く変更する場合があります。

KARACRIX は株式会社エスアイ創房の登録商標です。 Microsoft,Windows,Excel は米国 Microsoft Corporation の登録商標です。 その他、本文中に記載されている社名および商品名は、一般に開発メーカーの登録商標です。

KaracrixBuilderV3 システムマニュアル 第 1.00 版 © S.I.Soubou Inc.

S.I.Soubou Inc.

目次

1章	はじめに1-1
1.1	KaracrixBuilder とは1-1
1.2	KaracrixBuilder で扱う情報1-1
1.3	KaracrixBuilder の機能1-2
2章	インストール
2.1	インストールメディア2-1
2.2	インストール
2.3	OS 環境の確認2-8
2.4	シリアルポート・アクセス許可の確認2-8
2.5	印刷環境の設定2-9
3章	KaracrixBuilder の操作概要 3-1
3.1	KaracrixBuilder の起動3-1
3.2	KaracrixBuilder コンソールの機能3-5
3.3	メインメニュー
3.4	画面操作の基本事項3-11
4章	モニタ画面による監視と操作4-1
4.1	ポイントの監視
4.2	ポイントの操作4-5
4.2.	1 ポイント操作画面と操作ダイアログの種類 4-5
4.2.	2 入力系ポイント状態ダイアログ画面の表示切替えについて
4.3	監視パネルの管理4-10
5章	Web・モバイル・E メールによる監視と操作5-1
5.1	機能メニューの Web&携帯アクセス許可設定 (コンソールでの準備)
5.2	登録データの Web&携帯アクセス許可設定 (コンソールでの準備)
5.3	Web ブラウザによる監視・操作 5-4
5.4	ポイント監視
5.5	モニター画面
5.6	計測グラフ
5.7	記録グラフ
5.8	操作履歴
5.9	警報履歴
5.10	スケジュール
S.I.Soubou	Inc iii

5.11	記録データ
5.12	帳票
5.13	パラメータ(制御プログラム)5-58
5.14	システム設定
5.15	モバイル端末による監視・操作5-66
5.16	E メールによる監視・操作5-83
6章	ポイント属性一時変更6-1
6.1	ポイント属性一時変更画面の表示
6.2	ポイント属性設定画面の表示
7章	計測トレンドグラフ7-1
7.1	計測トレンドグラフの機能概要7-1
7.2	計測トレンドグラフー覧画面の機能7-3
7.3	データ記録条件の登録
7.4	グラフの描画
7.5	グラフの表示操作7-17
8章	記録トレンドグラフ
8.1	記録トレンドグラフの機能概要8-1
8.2	記録トレンドグラフー覧画面の機能
8.3	記録トレンドグラフの登録
8.4	グラフ描画条件の設定
8.5	グラフの表示操作
9章	状態一覧
9.1	状態一覧画面の概要
9.2	ポイントの状態一覧
9.3	ポイントの操作と設定9-10
10 章	操作履歴10-1
10.1	操作履歴一覧画面の概要10-1
10.2	操作履歴出力プログラムの作成概要10-6
11 章	警報履歴11-1
11.1	警報履歴一覧画面の概要11-1
11.2	警報履歴出力プログラムの作成法11-6

12 章	制御プログラム12-1
12.1	制御プログラム登録画面の表示12-1
12.2	プログラム作成手順12-4
12.3	制御パラメータを使用するプログラム12-9
12.4	プログラム簡易編集12-14
12.5	プログラムの DEBUG モニタ12-18
13章	制御パラメータ入力13-1
13.1	制御パラメータの設定13-1
13.2	制御プログラムの実行13-4
14 音	帳垔プログラム 14-1
14.1	帳票プログラム登録画面の表示 14-1
14.2	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・
14.3	帳票パラメータを使用するプログラム
14.4	帳票プログラムの処理概要
14.5	サンプルプログラム解説
15 章	監視パネルの作成
15.1	監視パネル CAD とは15-1
15.2	監視パネル CAD の画面構成15-1
15.3	監視パネル作成の手引き15-3
15.4	監視パネル作成前の準備15-5
15.4	1.1 操作環境15-5
15.4	1.2 部品環境15-9
15.4	1.3 レイヤ設定15-19
15.5	部品の描画
15.6	部品化の手順15-70
15.6	6.1 絵部品箱15-70
15.6	6.2 複部品箱15-76
15.6	6.3 複部品貼
15.7	部品の編集
15.8	キャンバスの印刷15-98
15.9	監視パネル CAD の終了15-99
15.10	ビットマップの編集15-100
15.11	監視パネル CAD で使用できるフォント15-102

_

16章 朝	長票フォーマットの作成	
16.1	帳票作成機能の概要	
16.2	帳票フォーム CAD の構成	
16.3	帳票フォーマットの作成	
16.4	帳票フォーマット作成前の準備	
16.4.1	操作環境	16-7
16.4.2	部品環境	16-10
16.4.3	レイヤの設定	16-12
16.5	部品の描画	
16.6	プログラム原点の作成	
16.7	部品の編集	
16.8	その他の機能	
17 音 7	マケジュール記動/停止	17-1
17 1	スケジュールの機能概要	
17.2	カレンダとスケジュール画面	17-2
17.3	カレンダの設定	17-3
17.4	ポイントの選択とイベントスケジュール	
18章 リ	リソースファイルの入出力	
18.1	リソースファイルの構成の解説	
18.1.1	制御&帳票プログラム・本体ファイルのリソースの構成	
18.1.2	制御プログラム・パラメータファイルのリソースの構成	
18.1.3	パラメータ付き制御プログラムのリソースの構成	
18.1.4	監視パネル&複部品のリソースの構成	
18.1.5	ビットマップファイル(絵部品)のリソースの構成	
18.1.6	帳票プログラム・パラメータファイルのリソースの構成	
18.1.7	帳票フォーマット&複部品のリソースの構成	
18.2	制御プログラムファイル	
18.2.1	制御プログラムファイルのインポート	
18.2.2	制御プログラムファイルのエクスポート	
18.3	制御&帳票パラメータファイル	
18.3.1	制御&帳票パラメータファイルのインポート	
18.3.2	制御&帳票パラメータファイルのエクスポート	
18.4	ポイント汎用属性名称のインポート	
18.5	監視パネル&複部品ファイル	
18.5.1	監視パネル&複部品ファイルのインポート	
18.5.2	監視パネルファイルのエクスポート	
vi ==		S.I.Soubou Inc.

18.6 ビットマップファイル	
18.6.1 ビットマップファイルのインポート	
18.6.2 ビットマップファイルのエクスポート	
18.7 帳票プログラムファイル	
18.7.1 帳票プログラムファイルのインポート	
18.7.2 帳票プログラムファイルのエクスポート	
18.8 帳票書式ファイル	
18.8.1 帳票書式ファイルのインポート	
18.8.2 帳票書式ファイルのエクスポート	
19 音 システム一般環境設定	19-1
19.1 システム一般環境メニュー	
19.2 システムパラメータ設定	
19.2.1 Web 画像サイズ等に関する設定	
19.2.2 携帯画像サイズ等に関する設定	
19.2.3 Web&携帯メニュー表示に関する設定	
19.2.4 Web グラフ初期値に関する設定	
19.2.5 Web&携帯表示方法に関する設定	
19.2.6 Web&携帯操作許可に関する設定	
19.2.7 その他の設定	
19.3 リモートユーザの登録	
19.4 E メール接続環境設定	
19.5 画像記録方式の設定	
20 音 オブジェクト環境設定	20-1
201 オブジェクト環境メニュー	20-1
20.1.1 ポイント登録画面	
20.1.2 デジタル入出力(DLDO) ポイントオブジェクトの設定	
20.1.3 アナログ入出力(AI.AO) ポイントオブジェクトの設定	
20.1.4 カウンタ入力(PI) ポイントオブジェクトの設定	
20.1.5 イメージ入力(IMG) ポイントオブジェクトの設定	
20.2 グループ名の登録	
20.3 单位登録	
20.4 履歴書式テーブル登録	
21 章 記録ファイル環境設定	
21.1 記録ファイル環境メニュー	
21.2 計測データ記録条件設定	
S.I.Soubou Inc.	vii

0.1	0.1		01.0
21			۵1 م. ۱ م
21			
21	.2.3	記録ノアイル(sys_ttvYYMM.log)の仕様	
21	2.4 • •	コーク記録宗件設定	
21.3		1)別につる データ始年	
21.4		↑ 測記録テーク編集	21-13
21.3		ノアイル―夏&則际	21-18
22章	画	象記録	22-1
. 22.1			22-1
22.2	: 1	イメージビュワの使用法	22-8
23 章	K	C X ライブラリリファレンス	23-1
23.1	KC	X 基本ライブラリー覧	23-1
23.2	KC	X 印刷ライブラリー覧	23-3
23.3	KC	X 画像記録制御ライブラリー覧	23-3
23.4	KC	X レガシー通信ライブラリー覧	23-3
23.5	KC	X ソケット通信ライブラリー覧	23-4
23.6	KC	X Eメールライブラリー覧	
24 章	シン	ステムとファイル仕様	24-1
24.1	. 7	オブジェクトについて	
24	1.1.1	ポイントオブジェクト	24-2
24	1.1.2	プログラムオブジェクト	24-2
24	1.1.3	ポイントオブジェクトの実体と使い方	24-3
24	1.1.4	オブジェクトメモリの読み書きについて	24-6
24.2	? J	ディレクトリ構成	24-13
24.3	S OS	環境ファイル	24-15
24.4	5	デジタル文字テーブルへの定義追加	24-15
24.5	i i	計測トレンドグラフ描画データ一時保存ファイルのフォーマット	24-16
24.6	5 言	汁測データ記録ファイルのフォーマット	24-18
24.7	′	操作履歴ファイルのフォーマット	24-23
24.8		警報履歴ファイルのフォーマット	24-28
	資料1	1 KaracrixBuilder システムコンフィク゛レーションファイル	24-32
	資料2	2 Linux&UnixOS 資源環境設定ファイル	24-34
	資料3	3 デジタル文字テーブルファイル	24-35
	資料4	4 オペレータコードテーブルファイル	24-37
	資料5	5 システムポイントオブジェクト登録ファイル	24-38
viii			S.I.Soubou Inc.

	↓6 ポイントオブジェクト登録ファイル	資料
	↓7 ポイント属性項目名称テーブルファイル	資料
	印刷環境の設定	付録AE
9	Web サーバの設定	付録 B 、

付録 C	X-Window サーバのバッキングストア機能の設定	. 20